市民相談は日本共産党へ
森戸　よう子　東町5-14-10　☎042（383）0514
水上　ひろし　緑町1-6-7-101　☎042（301）9521
たゆ　久貴　貫井北町1-25-7-4-101　☎042（203）1362

しんぶん小金井

2024年 2月 18日
No. 1917

●発行　しんぶん小金井社
［連絡先］　長谷川　博道
TEL　070（6666）7717
メール：jcpkoganei@gmail.com

URL　http://www.jcpkoganei.com/　日本共産党小金井市議団　検索

第1回定例会始まる　介護保険料値上げが提案
市民生活を守るために全力　日本共産党

20日（火）から、2024年度第1回定例会が開会されます。

市長から送付されている案件は、「令和6年度施政方針」と、報告2件、補正予算6件、新年度予算5件、条例11件、規約変更1件の合計23件の議案が送付されています。

補正予算では、低所得の子育て世帯（住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯・家計急変世帯）に、児童一人当たり5万円支給するための予算が提出されています。

新年度予算では、日本共産党が求めてきた内容が反映しています。一つは国による児童手当拡充について、今年10月から高校生まで対象を拡大・所得制限廃止などの予算が計上されました。また、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金の補助単価見直し・遮熱塗装の追加、学校トイレ洋式化は、1年前倒しで洋式化率80％を達成するとしています。製品プラスチックの再商品化が行われること、西之台会館のエアコン設備更新や集会施設の一定の修繕などです。

トワイライトスティ（夜間養護）事業、多胎妊婦健診の拡充、まえは市民農園造成、なども盛り込まれています。

緑センターの民間委託や本町小の4年～6年生を対象に、水泳授業の外部委託が試行実施されます。

介護保険料値上げの条例改定が提案され、後期高齢者医療保険料も値上げで、物価高騰など市民生活は、ますます大変です。

日本共産党は、市長の施政方針への質疑や一般質問、予算審査などで、市民のくらし・福祉を守り、市民要求の実現に全力で頑張ります。

◆後援会「春を呼ぶつどい」◆「新しい政治の実現を必ず」樋口まこと18区予定候補

写真：あいさつする樋口まこと東京18区予定候補

日本共産党後援は11日、「春を呼ぶつどい」を開催しました。

赤旗記者が、自民党裏金問題と能登半島地震について講演。樋口まこと衆院東京18区予定候補はあいさつで、「政治に春を呼ぶ新しい政治を実現しよう」と訴えました。

たゆ久貴市議が、補聴器購入費助成や特養ホーム増設、学校トイレの様式化などの実績を報告。

水上ひろし市議は、くらし福祉の願い実現に頑張る市議団の役割を話し、森戸よう子市議が、市庁舎等建設が市民生活に大きな影響を与えるため、直接請求運動で設計見直しの実現を訴えました。

参加者から、「市議団の実績がわかった」「来年の市議選での全員当選に頑張りたい」などの決意が語られました。

公立保育園「廃園やめて！裁判」報告会
判決は2月22日（木）東京地裁で

公立保育園「廃園やめて！裁判」報告会が12日、行われました。

一昨年、前市長が公立保育園2園を廃園にする条例を専決処分し、すでに昨年4月から、さくら・くりのみ保育園の0歳児募集が停止され、段階的縮小が進められています。

さくら保育園の保護者が、①専決処分が、違法・無効であり条例として成立していないことから条例の取消しと、②それに基づき、さくら保育園への入所を不許可とした処分の取消し、を求めて裁判を起こしました。

約1年にわたる裁判が昨年12月に結審し、いよいよ2月22日（木）に判決が出されます。

「何故こうした事態になったのか」など経過への質問が出され、「公立5園を守りたい」との意見に拍手がわきました。森戸よう子市議と水上ひろし市議が参加しました。

判決は、東京地裁・419法廷、13時15分です。

写真：報告する弁護団の弁護士

問題が多すぎる「現行案」か
市民を笑顔にする「見直し案」か
庁舎等建設問題
「住民投票で決めよう」スタート集会
●2月23日（金・祝）午前10時～12時
●上之原会館　AB会議室　●資料代500円
主催　庁舎と福祉会館建設を考える会

街かど通信

震災から約1カ月が経過。道路や水道の整備が追い付かず、避難所での生活も大変な状況です。

国会で、避難所での「温かい食事」を求める日本共産党の質問に、岸田首相は「温められる食事」を提供するとの答え。

内閣府の「避難所運営ガイドライン」では、東日本大震災で、海外からの支援者が、「応急・復旧の迅速さに称賛する声があった一方で、避難所の生活環境については、国際的な難民支援基準を下回るという指摘があったことは重く受け止めなければ」ならないとして、「質の向上」を強調しています。災害救助法とともに、「温かい食事」や「寝具を公費で支給」などが示されています。

現地に駆け付けた赤旗記者は、支援の遅れを指摘。「人災」ともいえる状況を報告していました。

「裏金」に揺れる自民党。いっそのこと政党助成金をやめて復興に回すべきです。

（水上　ひろし）

一出身が石川県」など地域の方のお話しに、能登半島地震をあらためて身近に感じます。

※裏面、児童への5万円給付の資料を掲載